

令和５年度 雄武町の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用内容

(単位:千円)										
No.	事業名	事業内容(使途)	補助 単独	事業開始 年月日	事業完了 年月日	計画 総事業費	交付金対象 実績事業費	交付金 充当額	実施実績	効果検証
1	令和5年度雄武町住民税非課税世帯等臨時給付金【追加分】	物価高騰により負担感が大きい住民税非課税世帯への支援として1世帯あたり70,000円を給付する。	単独	R6.2.1	R6.3.31	43,790	41,519	41,180	給付金1人あたり70,000円×568世帯＝39,760,000円 消耗品60,929円、郵便料80,256円、口座振込手数料187,440円 システム改修委託料1,430,000円	物価高騰が続いている状況の中、家計への影響や負担感が大きい住民税非課税世帯へ給付金の支給を行うことで経済的な不安解消の一助となりました。また、基幹システムの改修を行い、対象者を抽出し、対象者へ申請書を送付することで確実にスムーズな給付を行うことができました。
2	住民税非課税世帯等臨時給付金(均等割課税分)	物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。	単独	R6.1.29	R6.6.28	12,100	9,051	8,405	給付金1人あたり100,000円×82世帯＝8,200,000円 消耗品費60,599円、郵便料7,078円、口座振込手数料27,390円 システム改修委託料756,250円	物価高騰が続いている状況の中、家計への影響や負担感が大きい住民税均等割のみ課税世帯へ給付金の支給を行うことで経済的な不安解消の一助となりました。また、基幹システムの改修を行い、対象者を抽出し、対象者へ申請書を送付することで確実にスムーズな給付を行うことができました。
3	住民税非課税世帯等臨時給付金(こども加算分)	物価高が続く中で低所得の子育て世帯(18歳以下の子を扶養している世帯)への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。	単独	R6.1.29	R6.6.28	3,034	1,762	1,448	給付金1人あたり50,000円×27人＝1,350,000円 消耗品費60,978円、郵便料1,176円、口座振込手数料5,940円 システム改修委託料343,750円	物価高騰が続いている状況の中、家計への影響や負担感が大きい住民税非課税世帯等の子育て世帯へ給付金の支給を行うことで経済的な不安解消の一助となりました。また、基幹システムの改修を行い、対象者を抽出し、対象者へ申請書を送付することで確実にスムーズな給付を行うことができました。
10	物価高騰対策事業(家計応援券)	物価高騰による影響を受けた生活者支援として、町内商工会加盟店で使える「家計応援券」を全町民へ配布し、家計の負担軽減を図る。	単独	R6.1.1	R6.3.29	24,500	23,302	22,317	事務用品代63,261円 (印刷用トナ-2本入・ドラムユニット×1個39,369円、封筒23,892円) 郵便料1,606,659円 応援券19,562,000円 (5,000円×4,056件×96.4%≒19,562,000円) 商工会事務費1,800,000円 (チラシ・ポスター等438,527円、商品券印刷代294,060円、消耗品569,532円、人件費378,826円、パソコンリース料他119,988円)	燃油高騰と物価上昇により圧迫されている家計を助けるため、商工会加盟店で利用できるクーポン券5,000円分を全町民へ配付し、発行額20,280,000円に対して、使用額が19,562,000円で、商品券使用率が約96.4%となり、広く町民に利用され、町内の消費喚起と景気対策に資することができました。
計						83,424	75,634	73,350	※ 交付金充当額の中のうち、2,610千円が6年度交付分、9,853千円が繰越分です。	